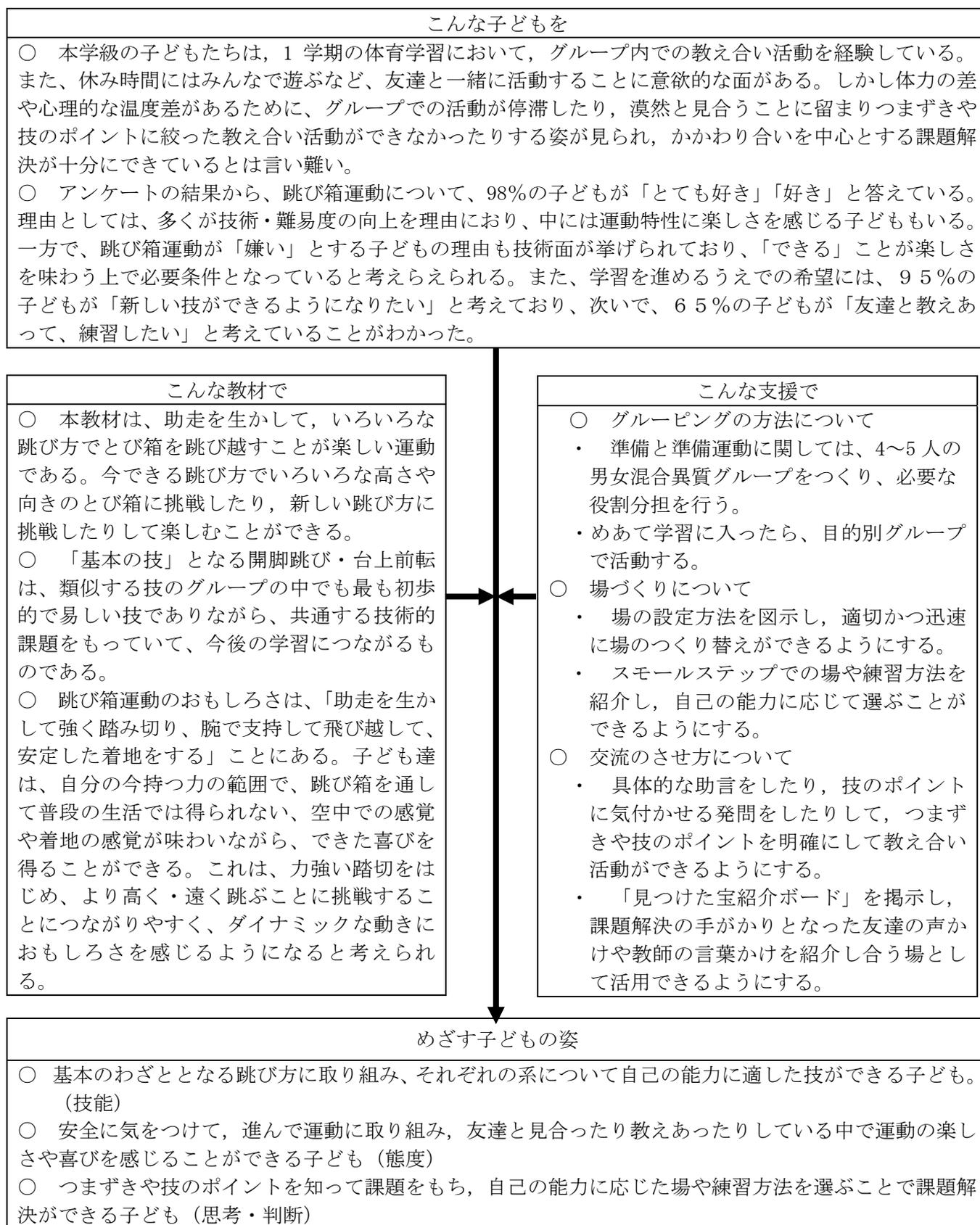


第4学年 体育科学習指導案

指導者

1. 単元名 「跳び箱運動～大きなジャンプでピタリと着地！～」(7時間単元)

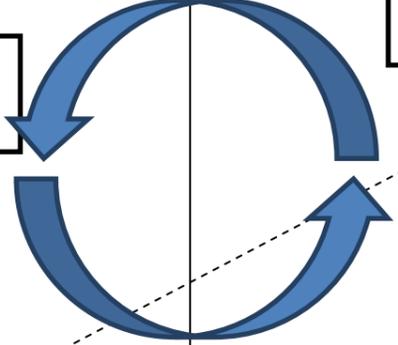
2. 指導を進めるにあたっての基本的な考え方



3. 学習と指導の計画 (全7時間)

	1	2	3	4	5 (本時)	6	7
めざす子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な支持跳び越しの習得に取り組むことができる。(技) ○安全に気を付けて、友達とのかかわり合いながら活動することができる。(態) ○自分のできる技を確認して、どんな技を習得していきたいかをめあてを持つ。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ○財産調べをもとに、できる技をより確かにして、できそうな技に挑戦することができる。(技) ○安全に気を付けて、友達とのかかわり合いながら活動することができる。(態) ○できる技をもとに、自分の能力に応じた技の場や練習方法を選ぶことができる。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ○できる技をより確かにして、できそうな技に挑戦することができる。(技) ○安全に気を付けて、友達とのかかわり合いながら活動することができる。(態) ○できる技をもとに、自分の能力や課題に応じた技の場や練習方法を選んだり工夫したりすることができる。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ○できるようになった技をより確かにして、できそうな技に挑戦することができる。(技) ○安全に気を付けて、友達とのかかわり合いながら活動することができる。(態) ○自分の能力や課題に応じた技の場や練習方法を選んだり工夫したりすることができる。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ○できるようになった技をより確かにして、できそうな技に挑戦することができる。(技) ○安全に気を付けて、友達とのかかわり合いながら活動することができる。(態) ○自分の能力や課題に応じた技の場や練習方法を選んだり工夫したりすることができる。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ○できるようになった技をより確かにし、できそうな技に挑戦できる。(技) ○安全に気を付けて、友達とのかかわり合いながら活動することができる。(態) ○練習や教え合いを通して、友達によさに気付いたり、自分の課題を克服する動きを考えたりすることができる。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ○できそうな技を習得することができる。(技) ○安全に気を付けて、友達とのかかわり合いながら活動することができる。(態) ○練習や教え合いを通して、友達によさに気付いたり、自分の課題を克服する動きを考えたりすることができる。(思)
学習の流れ	<p>1 学習の見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のねらいと学習のすすめ方を知る。 ○ 安全の約束と場のづくり方を確認する。 <p>2 学習の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 準備運動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・うさぎ跳び ・馬跳び ○ 本時のめあてを確認する。 <p>財産調べをして、めあてをきめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事前の実態調査をもとに、取り組む「基本の技」を選ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・開脚跳び ・台上前転 ○ 場づくりをする。 <p>3 財産調べをする。</p> <p>※ 準備を同じくしたグループで財産調べをする。</p> <p>【基本技】上記</p> <p>【進んだ技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな開脚跳び ・大きな台上前転 ・かかえこみ跳び ・仰向け跳び ・頭はね跳び <p>※判断基準については、めあて確認の際に伝えとともに学習ノートに記入しておく。</p> <p>4 学習を振り返り、次時の学習の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習ノートに活動の振り返りを書き、めあてを決定する。 <p>※できる技をめあて①、できそうな技をめあて②とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 後片付けをする。 	<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のねらいと学習の進め方を確認する。 ○ 安全の約束と場のづくり方を確認する。 <p>2 学習の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 準備運動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・うさぎ跳び ・馬跳び ○ 本時のめあてを確認する。 <p>やってみる</p> <p>自分の力にあった「できるの技」取り組んだり、より完成度を高めたりしよう!!</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本の技に取り組む。 <p>2、めあて①の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループを確認し、場づくりをする。 <p>【予想される課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手の付く位置 ・踏切の位置 ・タイミング (リズム) ・歩数 (助走距離) ・着地の仕方 ・空中姿勢 <p>※動きの分解図を掲示し、各ポイントを絞って教えあいができるようにする。</p> <p>※課題別にグルーピングする。</p> <p>3 以下は、6/7 と同じ</p> <p>4、めあて②の活動を行う。</p> <p>5、 学習を振り返り、次時の学習の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習ノートに活動の振り返りを書き交流する。。 <p>※できる技をめあて①、できそうな技をめあて②とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 後片付けをする。 	<p>1 学習の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 準備運動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・うさぎ跳び ・馬跳び ○ 本時のめあてを確認する。 <p>以下は 2/7 と同じ</p> <p>2、めあて①の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループを確認し、場づくりをする。 <p>以下は、6/7 と同じ</p>	<p>1 学習の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 準備運動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・うさぎ跳び ・馬跳び ○ 本時のめあてを確認する。 <p>以下は、6/7 と同じ</p>	<p>1 学習の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 準備運動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・うさぎ跳び ・馬跳び ○ 本時のめあてを確認する。 <p>以下は、6/7 と同じ</p>	<p>1 学習の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 準備運動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・うさぎ跳び ・馬跳び ○ 本時のめあてを確認する。 <p>2、めあて①の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループを確認し、場づくりをする。 <p>3、めあて②の活動の準備をする。</p> <p>4、めあて②の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループを確認し、場づくりをする。 <p>【予想される課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手の付く位置 ・踏切の位置 ・タイミング (リズム) ・歩数 (助走距離) ・着地の仕方 ・空中姿勢 <p>※動きの分解図を掲示し、各ポイントを絞って教えあいができるようにする。</p> <p>【予想される活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの教えあい。 ・場の工夫 ・視聴覚機器の活用 <p>※スモールステップでの場や練習方法を紹介する。</p> <p>※動きの分解図を掲示し、各ポイントを絞って教えあいができるようにする。</p> <p>※課題別にグルーピングする。</p> <p>5、 学習を振り返り、次時の学習の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習ノートに活動の振り返りを書き交流する。 <p>※できる技をめあて①、できそうな技をめあて②とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 後片付けをする。 	<p>1 学習の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 準備運動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・うさぎ跳び ・馬跳び ○ 本時のめあてを確認する。 <p>2、めあて②の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループを確認し、場づくりをする。 <p>【予想される課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手の付く位置 ・踏切の位置 ・タイミング (リズム) ・歩数 (助走距離) ・着地の仕方 ・空中姿勢 <p>※動きの分解図を掲示し、各ポイントを絞って教えあいができるようにする。</p> <p>【予想される活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの教えあい。 ・場の工夫 ・視聴覚機器の活用 <p>※スモールステップでの場や練習方法を紹介する。</p> <p>※動きの分解図を掲示し、各ポイントを絞って教えあいができるようにする。</p> <p>※課題別にグルーピングする。</p> <p>3、 学習を振り返り、次時の学習の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習ノートに活動の振り返りを書き交流する。 <p>※できる技をめあて①、できそうな技をめあて②とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 後片付けをする。

ひろげる
「できそうな技」にちょうせんしたり、自分の課題を見つけたりしよう!



以下は、6/7 と同じ

以下は、以下は、6/7 と同じ

4. 本時学習

(1) 本時 月 日 () 体育館

(2) 本時の目標

- できるようになった技をより確かにして、できそうな技に挑戦することができる。(技能)
- 安全に気を付けて、友達とのかかわり合いながら活動することができる。(態度)
- 自分の能力や課題に応じた技の場や練習方法を選んだり工夫したりすることができる。(思考・判断)

(3) 準備

教師：とび箱、マット、踏切板、ロイター板、調整箱、平均台、ビニルテープ、ゴムひも、めあて一覧表（場の設定方法とグルーピングを示したもの）、見つけた宝紹介ボード

児童：学習ノート、ポイントカード、筆記用具

5. 展開 (5/7)

	学習活動と内容	学習活動に即した支援
0 5	1 学習の準備をし、めあてを確認する。 ○ 準備運動をする。 ・うさぎ跳び ・馬跳び ○ 本時のめあてを確認する。	※ けがや事故を防ぐため、安全に気を付けて準備するよう声かけをするとともに、4~5人の男女混合異質グループをつくり、必要な役割分担を行うことで、安全で素早い準備ができるようにする。
やってみる 自分の力にあった「できる技」に取り組んだり、より完成度を高めたりしよう！！		
15	2 めあて①の活動を行う。 ○ グループを確認し、場づくりをする。 【予想される課題】 ・手の付く位置・踏切の位置・タイミング(リズム)・歩数(助走距離)・着地の仕方・空中姿勢 ○ ※動きの分解図を掲示し、各ポイントを絞って教えあいができるようにする。 ○ ※課題別にグルーピングする。	※ 運動の行い方を工夫することを通して、自分の体力を高めることをねらっていることを確認する。 ※ 課題別にグルーピングして、ポイントカードを見ながら各ポイントを絞って見合ったり教え合ったりすることができるようにする。 ※ 見つけたコツを共有することができるように、吹き出しにコツを書いてポイントカードに貼る。
ひろげる 自分の課題にあった場や練習方法を選んで、「できそうな技」にちょうせんしよう、！		
20 35 45	3 めあて②の活動の準備をする。 ○ めあてを確認する。 4 めあて②の活動を行う。 ○ グループを確認し、場づくりをする。 【予想される活動】 ・グループでの教えあい。 ・場の工夫 ・視聴覚機器の活用 5 学習を振り返り、次時の学習の見通しを持つ。 ○ 学習ノートに活動の振り返りを書き交流する。 ○ 後片付けをする。	※課題別にグルーピングする。 ※スモールステップでの場や練習方法を紹介する。 ※動きの分解図を掲示し、各ポイントを絞って教えあいができるようにする。 ※視聴覚機器を準備し、自分の技のポイントや課題を見つけやすくする。(技ごとに1回の利用とする。) ※できる技をめあて①、できそうな技をめあて②とする

授業仮説

器械運動において「かかわり合いともに高め合う」授業づくりをすれば、運動の楽しさや喜びを味わうことができるだろう。